

令和4年9月29日  
一般社団法人 日本食鳥協会

令和4年度・第1回主要産地協議会（岩手県開催）  
議長・主催者・来賓者挨拶

令和4年度第1回主要産地協議会を、岩手県盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡で9月21日（水）に開催した。

○議長挨拶 主要産地協議会議長 矢元 淳一（プライフーズ㈱執行役員生産本部長）  
台風14号が日本を縦断したが、勢力が弱まってから通過した東北に比べ、鹿児島・宮崎をはじめとした九州では大きな被害が出ていると聞いた。心からお見舞い申し上げます。そんな中で欠席なく各社の皆さんに集まっていただき心から感謝申し上げます。業界を取り巻く情勢は厳しいが、我々にできることをコツコツとやっていくしかない。今日は活発な意見交換ができるよう進行を努めていきたい。

○主催者挨拶 一般社団法人 代表理事 佐藤 実

みなさんが生産を頑張ってくださっている中、消費をどう拡大していくかが我々の使命。特に次世代の若い方たちに消費拡大をいかに図っていくかが大きなテーマではないかと思っている。また、価格を見直している今だからこそ、国産チキンにプレミアムな価値のついた商品づくりができるのではないか。今日は各産地の貴重な意見を伺いながら、消費拡大に向けてどのようなことができるかを考えていければと思う。

○来賓挨拶 岩手県農林水産部畜産課総括会長 米谷 仁

皆様におかれましては、日頃からブロイラーの安定した生産・供給に努め、また、地域経済の活性化に尽力されていることに心から感謝申し上げます。国内のブロイラー産業は増加傾向に推移している。ここ岩手県、そして本日お越しいただいている宮崎、鹿児島両県で国内のブロイラー生産の過半数を占めている状況で、安全・安心な国産鶏肉の供給を担っているこの役割は非常に重要。引き続き、本県においても主要な産業として生産者の皆様をサポートしていきたい。

○次回開催：令和5年3月24日（金）東京都内にて

○詳細は会議資料を参照してください。

以上